

「令和3年度 森林及び林業の動向」資料一覧

特集1 令和3(2021)年の木材不足・価格高騰 (いわゆるウッドショック)への対応

資料 特1-1	我が国の製材品輸入量の月別推移	10
資料 特1-2	我が国の製材品の輸入平均単価	11
資料 特1-3	新設住宅着工戸数の前年同月比	12
資料 特1-4	製材品出荷量の月別推移	12
資料 特1-5	普通合板出荷量の月別推移	12
資料 特1-6	製材品・集成材・合板価格の推移	13
資料 特1-7	原木価格の推移	13
資料 特1-8	スギ原木価格(地域別)	14
資料 特1-9	ヒノキ原木価格(地域別)	14

特集2 グリーン成長のカギを握る木材需要拡大と木材産業の競争力強化

資料 特2-1	森林資源の循環利用(イメージ)	18
資料 特2-2	木材利用における炭素ストックの状態	18
資料 特2-3	我が国の二酸化炭素吸収量(令和2(2020)年度)	18
資料 特2-4	建築物の床面積当たり二酸化炭素排出量試算	19
資料 特2-5	森林・林業基本計画における国産材利用量の目標と実績	20
資料 特2-6	用途別・階層別・構造別の着工建築物の床面積	22
資料 特2-7	新設住宅着工戸数と木造率の推移	22
資料 特2-8	滅失住宅の平均築後年数の国際比較	24
資料 特2-9	建築用製材における人工乾燥材の割合	25
資料 特2-10	木造軸組住宅の部材別木材使用割合(大手住宅メーカー)	26
資料 特2-11	工務店での木材使用割合	26
資料 特2-12	低層非住宅の規模別着工床面積と木造率	27
資料 特2-13	木材利用の事例	28
資料 特2-14	製材、集成材及び合板の供給量(令和2(2020)年)	30
資料 特2-15	製材・合板工場等の分布及び原木生産量の変化	31
資料 特2-16	製材工場の規模別工場数と原木消費量	32
資料 特2-17	製材工場の出力規模別の原木消費量の推移	33
資料 特2-18	歩留りと木材価格の推移	34
資料 特2-19	合板工場の規模別工場数と原木消費量	34
資料 特2-20	ヒノキを用いた家具の例	36
資料 特2-21	我が国の木材輸出額の推移	38
資料 特2-22	輸出された木材の外装での使用例	39
資料 特2-23	素材生産者から製材工場等への直送量の推移	41
資料 特2-24	林産複合型経営の取組例	42
資料 特2-25	製材品の出荷先別割合の推移	42
資料 特2-26	木造軸組構法におけるプレカット率の推移	43
資料 特2-27	プレカット工場において構造材と併せて羽柄材等も プレカットした割合	43
資料 特2-28	木材流通業者等の規模の推移	43
資料 特2-29	用途別スギ原木価格の推移	44
資料 特2-30	住宅メーカー等が国産材を使用しない理由	45
資料 特2-31	木造軸組構法をベースとした4階建て事務所モデル	46
資料 特2-32	丸太末口直径別の供給量見込み	48



資料 特2-33 木質耐火部材の例……………51

第Ⅰ章 森林の整備・保全

資料Ⅰ-1 人工林の齢級構成の変化……………54

資料Ⅰ-2 我が国の森林蓄積の推移……………54

資料Ⅰ-3 森林面積の内訳……………55

資料Ⅰ-4 森林に期待する役割の変遷……………55

資料Ⅰ-5 「森林・林業基本計画」における森林の有する多面的機能の発揮
に関する目標……………57

資料Ⅰ-6 「森林・林業基本計画」における木材供給量の目標と総需要量の
見通し……………57

資料Ⅰ-7 森林・林業基本計画のポイント……………58

資料Ⅰ-8 「全国森林計画」における計画量……………59

資料Ⅰ-9 森林整備の実施状況(令和2(2020)年度)……………63

資料Ⅰ-10 山行苗木やまゆきの生産量の推移……………63

資料Ⅰ-11 特定母樹の指定状況……………64

資料Ⅰ-12 令和2(2020)年度特定苗木の樹種別生産実績と割合……………64

資料Ⅰ-13 スギの花粉症対策に資する苗木の生産量の推移……………64

資料Ⅰ-14 森林づくり活動もりを実施している団体の数の推移……………70

資料Ⅰ-15 企業による森林づくり活動の実施箇所数の推移……………70

資料Ⅰ-16 聞き書き甲子園20周年企画「聞く」と「書く」のあいだ展……………71

資料Ⅰ-17 保安林の種類別面積……………74

資料Ⅰ-18 太陽光発電施設の設置を目的とした開発行為の許可基準の運用細則…75

資料Ⅰ-19 近年の山地災害等に伴う被害……………76

資料Ⅰ-20 主要な野生鳥獣による森林被害面積(令和2(2020)年度)……………79

資料Ⅰ-21 松くい虫被害量(材積)の推移……………80

資料Ⅰ-22 ナラ枯れ被害量(材積)の推移……………81

資料Ⅰ-23 林野火災の発生件数及び焼損面積の推移……………82

資料Ⅰ-24 世界の森林面積の変化(1990-2020年)……………83

資料Ⅰ-25 モントリオール・プロセスの7基準54指標(2008年)……………84

資料Ⅰ-26 主要国における認証森林面積とその割合……………85

資料Ⅰ-27 我が国におけるFSC及びSGECの認証面積の推移……………86

資料Ⅰ-28 「パリ協定」の概要……………87

資料Ⅰ-29 我が国の温室効果ガス排出削減と森林吸収量の目標……………88

資料Ⅰ-30 独立行政法人国際協力機構(JICA)を通じた森林・林業分野の
技術協力プロジェクト等(累計)……………89

第Ⅱ章 林業と山村(中山間地域)

資料Ⅱ-1 林業産出額の推移……………92

資料Ⅱ-2 国産材の素材生産量の推移……………93

資料Ⅱ-3 全国平均山元立木価格の推移……………93

資料Ⅱ-4 林家の数の推移……………94

資料Ⅱ-5 林家の規模別の保有山林面積推移……………94

資料Ⅱ-6 林業経営体数の推移……………95

資料Ⅱ-7 組織形態別の林業経営体数の推移……………95

資料Ⅱ-8 林業経営体の規模別の保有山林面積推移……………95

資料Ⅱ－9	組織形態別の保有山林面積の推移	96
資料Ⅱ－10	地域別の林業経営体数及び保有山林面積 (2015年と2020年の比較)	96
資料Ⅱ－11	組織形態別の作業面積の推移	97
資料Ⅱ－12	素材生産量規模別の林業経営体数等の推移	97
資料Ⅱ－13	組織形態別の素材生産量の推移	98
資料Ⅱ－14	総事業取扱高別の森林組合数及び割合	99
資料Ⅱ－15	林業従事者数の推移	103
資料Ⅱ－16	年齢階層別の林業従事者数の推移	103
資料Ⅱ－17	林業の労働災害発生件数の推移	104
資料Ⅱ－18	森林組合の雇用労働者の年間就業日数	105
資料Ⅱ－19	火起こしセット「HIASOBI」	108
資料Ⅱ－20	現在の素材生産にかかる収支のイメージ	108
資料Ⅱ－21	森林クラウドを活用した森林施業の集約化のイメージ	111
資料Ⅱ－22	路網整備における路網区分及び役割	111
資料Ⅱ－23	林内路網の現状と整備の目安	112
資料Ⅱ－24	「新しい林業」に向け期待される新技術	113
資料Ⅱ－25	これからの林業の収支構造試算(施業地レベル1ha)	113
資料Ⅱ－26	新たな林業機械の開発	115
資料Ⅱ－27	きのこ類生産量の推移	117
資料Ⅱ－28	木炭の生産量の推移	118
資料Ⅱ－29	竹材の国内生産量の推移	119
資料Ⅱ－30	国産漆の生産量と自給率の推移	119
資料Ⅱ－31	消滅集落跡地の森林・林地の管理状況	121
資料Ⅱ－32	山村地域の集落で発生している問題上位10回答(複数回答)	121
資料Ⅱ－33	伝統工芸品の製作体験	122
資料Ⅱ－34	森林空間利用に対するニーズ(複数回答)	124

第三章 木材需給・利用と木材産業

資料Ⅲ－1	世界の木材(産業用丸太・製材・合板等)輸入量(主要国別)	129
資料Ⅲ－2	世界の木材(産業用丸太・製材・合板等)輸出量(主要国別)	129
資料Ⅲ－3	木材需要量の推移	131
資料Ⅲ－4	木材供給量と木材自給率の推移	132
資料Ⅲ－5	品目別の木材輸入量の推移	133
資料Ⅲ－6	令和2(2020)年の木材需給の構成	134
資料Ⅲ－7	我が国の木材価格の推移	135
資料Ⅲ－8	建築物全体と公共建築物の木造率の推移	140
資料Ⅲ－9	都道府県別公共建築物の木造率(令和2(2020)年度)	141
資料Ⅲ－10	学校施設の木造化事例	141
資料Ⅲ－11	燃料材の国内消費量の推移	142
資料Ⅲ－12	事業所が所有する利用機器別木質バイオマス利用量の割合	143
資料Ⅲ－13	木質バイオマスの発生量と利用量の状況(推計)	143
資料Ⅲ－14	木質バイオマス熱利用の例	144
資料Ⅲ－15	改質リグニン製品開発の例	146
資料Ⅲ－16	ウッド・チェンジロゴマーク 木づかいサイクルマーク	148
資料Ⅲ－17	木材・木製品製造業の生産規模の推移	150



資料Ⅲ－18	製材品出荷量(用途別)の推移	151
資料Ⅲ－19	国内の製材工場における原木入荷量と国産材の割合	152
資料Ⅲ－20	集成材の供給量の推移	153
資料Ⅲ－21	合板用材の供給量の推移	154
資料Ⅲ－22	木材チップ用原木入荷量の推移	155

第Ⅳ章 国有林野の管理経営

資料Ⅳ－1	国有林が果たすべき役割(複数回答3つまで)	158
資料Ⅳ－2	機能類型区分ごとの管理経営の考え方	159
資料Ⅳ－3	「保護林」と「緑の回廊」の位置図	161
資料Ⅳ－4	国有林野におけるコンテナ苗の植栽面積の推移	164
資料Ⅳ－5	森林共同施業団地の設定状況	165
資料Ⅳ－6	国有林野からの素材販売量の推移	166
資料Ⅳ－7	「レクリエーションの森」の設定状況	168
資料Ⅳ－8	「日本美しい森 お薦め国有林」の例	168

第Ⅴ章 東日本大震災からの復興

資料Ⅴ－1	東日本大震災による林野関係の被害	172
資料Ⅴ－2	岩手県、宮城県、福島県における素材生産量及び製材品出荷量の推移	174
資料Ⅴ－3	富岡町地域交流館「富岡わんぱくパーク」	175
資料Ⅴ－4	福島県の森林内の空間線量率の推移	177
資料Ⅴ－5	東日本地域(北海道を除く17都県)におけるしいたけ生産量の推移	181